

横浜市立

ろう特別支援学校



令和8年度学校便り No. 5

ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/ss/ro/>

「暑かった夏に考えたこと」

統括部長 宮森 大輔

今年も暑い夏でした。と言っても、9月に入った現在でもまだまだ暑い日が続いています
が。

そんな暑い夏の中で、夏の高校野球は今年も熱く盛り上がりました。トーナメント戦による
すべての試合が負けられない戦い。金属バットの使用ということで点差があっても逆転があ
るかもしれないという緊張感。など、プロ野球とは違った楽しみがあります。

今年の大会は例年以上に地方大会から波乱が多く、緊張感のある試合が多かったように
思います。

高校野球に限らず、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）や全国中学校体育大会
（全中）など多くのスポーツ大会がこの夏休み期間に行われました。本校のバレーボール部
や卓球部もこの夏休み期間に、陸上競技部は夏休み前に関東大会に出場し、全国大会への
切符を獲得した選手たちもいました。

しかし、その一方で部活動の在り方について考えました。

テレビで観戦している私はエアコンのきいた涼しい部屋にいますが、実際に甲子園球場で
試合をしている選手たちは、炎天下のなか試合をしています。さらに吹奏楽部をはじめ応援
団やチアリーディング部など観客席で応援をしている生徒たちもいます。真夏の厳しい暑さ
の中で試合を行うことによる健康面への不安を感じる場面もありました。近年は特に、熱中症
のリスクなどが増し、高校野球では試合の開始時刻を比較的涼しい時間にずらしたり、クーリ
ングタイムを設けたり、タイブレーク制を導入したりと対策がとられてきました。そのような対
策をしてもなお、試合中に熱中症のような症状を見せる選手たちがテレビに映っているの
を見ると、開催時期や球場の変更も考えるべき時かもしれないと思います。

周囲の大人は、色々な案を考えますが、実際にプレーをしている選手たちはどう考えている
のか、ということも大切などと考えながら、エアコンのきいた部屋でテレビ観戦を楽しんだ、と
ても暑い夏でした。

各部のお便りから

ー 各学部を取組を、学部便りやクラス便り等からピックアップしてご紹介します ー

乳幼児教育相談

乳幼児教育相談（ひよこぐみ）で多くのお子さんが遊んでいるおもちゃ

＜おままごと＞

いろいろな種類の食べ物の模型がありま

す。中には、面ファスナーでくっついているものもあります。面ファスナーの部分を包丁で切ることができるため、子どもたちには人気です。「トントン」切るといより、「ザクッザクッ」と切る感じです。他にも、急須のお茶をコップに「ジャー」とついで、「どーぞー」とふるまったり、電子ジャーのご飯をお茶碗に盛って「どーぞー」とくれたり、フライパンで目玉焼きを「ジュージュー」と焼いてくれたりします。お母さんが日常やっている動作をよく見ているのですね。

学校で初めておままごとをやって、おままごとが大好きになったお友だちや、「かんぱーい」という言葉を覚えたお友だちもいましたよ。

オノマトペを使いながら楽しく、おままごとをしましょうね。

（「おたより」より引用）

幼稚部

幼稚部初めての夏休みはいかがでしたか？突然の天候の変化や厳しい暑さの中の夏休みでしたね。夏休みならではの思い出がたくさんできたのではないのでしょうか。子どもたちからのお話や、様々な夏の提出物、保護者の方のお話をお聞きするのを楽しみにしています。

8月31日からは夏休みの作品展が始まります。登下校時などに友達の作品や絵をお子さんと一緒に見て、話をしてあげてください。他学年の絵日記もぜひ見て、今後の参考にしてください。届いた暑中見舞いからは、お子さんの手で描かれた線やスタンプ、素敵な笑顔など、お子さんたちが夏休みを満喫している様子や保護者の皆さんがお子さんに合わせて工夫してくださったことが伝わり、とても温かい気持ちになりました。作品や課題がたくさんあり、大変だったと思いますが、一つ一つがお子さんの経験になり、ことばに結びついていると思います。

今年は9月25日が中秋の名月です。普段、月を観ることは少ないと思いますが、せっかくの機会ですので空を見上げて月を見つける機会をつくってみてください。太陽ではないことや大きさや色味などが違うことに気付くかもしれません。「お月様が見えるね」「月が半分だね」「月がない／ある（みえた）ね」などお話してみてください。

（「幼1 9月予定」より引用）

小学部

夏休みが明け、久しぶりに授業が始まりました。まだ夏休み気分が抜けきらず、落ち着かない様子が見られることもありましたが、どの授業にも意欲的に取り組むことができました。久しぶりの学校生活で疲れもたまっていることと思います。休日はゆっくりと過ごしてください。

生活科の時間には、冬野菜を育てる準備として草むしりを行いました。夏休み中にたくさん生えていた雑草を、みんなで協力して一生懸命抜くことができました。

（「小2 ジャンプ」より引用）

中学部

～ 3年職場体験が終わりました ～

今年は7月22日～24日の3日間、職場体験学習を行いました。報告会では、各自が体験先で学んだことを、「仕事内容」「仕事で大変だったこと・がんばったこと」「1・2年生へのアドバイス」などの項目ごとにまとめて発表しました。「1・2年生へのアドバイス」で特に強調されていたのは、今年も「あいさつ」「返事」「ほうれんそう（報連相）」でした。体験したことでこれらの大切さを実感できた様子でした。また、敬語をはじめとした言葉づかいや声の大きさ、メモをとることの大切さを挙げる生徒もいました。3日間という短い間でしたが、体験を通して多くのことを学ぶことができたようです。実際に社会へ出るのはまだ先ですが、将来に向けてどのような力を身に付けておくことが大切なかが分かったと思います。1・2年生も先輩たちの報告を自分事として捉えて、今後の生活や学習に生かしてほしいと思います。

（「学部だより」より引用）

高等部

～ 7/16(木) 性の講座 ～

7月16日（木）3・4時間目に性の講座を開きました。横浜市助産師会から助産師の方が来校してくれました。「同意」「プライベートゾーン」「パーソナルスペース」「バウンダリー」の4つについて学びました。

「同意」とは、相手の意見と自分の意見が同じことであり、相手の気持ちを確認することが重要になってきます。相手が「〇〇したい」という希望があったとしても、自分がしたくないときははっきり断ってもかまいません。逆もそうです。相手から「〇〇したくない」と言われたら、その気持ちを受け止めることが大切です。

次に、「プライベートゾーン」についてです。大人の体になるにつれて変化していく大切なところのことです。同意なく写真や動画を撮ったり触ったりすることはトラブルのもとになります。それを避けるために「パーソナルスペース」について理解を深める必要があります。パーソナルスペースとは、他の人が自分に近づくのを許せる距離感のことです。人によって心地よい距離感やイヤだと感じる距離感は異なります。そのことを理解し、適度な距離感を保つことが大切です。

最後の「バウンダリー」は、自分を守りながら人とつながるための心の境界線のことであり、自分らしさや自分の気持ちを大切に考えることです。人間関係を築いたり社会の中で暮らしたりしていく上で人に合わせなければならないという先入観がありますが、その必要はありません。対等な関係性とは、お互いに気持ちを言い合える関係であると話していました。

①相手の気持ちをきく（同意があるか）、②いやなときは「いや」と伝える、③困ったときは信頼できる大人に相談する、この3つを理解して、お互いに尊重し合える関係を築いていきましょう。

（「学部だより」より引用）

通級指導教室

～ 5月28日(木)『保護者懇談会』を行いました ～

今年度の懇談会は、「子どもとのかかわり」について考えていくこととしました。

春の懇談会は、「昨日子どもと何話した？～改めて日頃の子どもの会話を考える～」と題して、事前に保護者の方々にアンケートを取らせていただきました。懇談会当日は、小学生から高校生までの保護者の方々にご参加いただき、アンケート結果を眺めながらご自分のお子さんとの会話に思いを馳せ、皆さんで共有をしていきました。

（「たけのこ（小学生版）」より引用）